

研究機関：広島大学

研究課題名	潰瘍性大腸炎関連腫瘍性病変に対する内視鏡的切除術の有効性に関する登録研究
研究責任者名	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2021年11月18日(倫理委員会承認後)～ 2023年12月31日
対象者	2015年4月1日から2021年3月31の間に、広島大学病院内視鏡診療科で潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対して内視鏡切除による治療を受けられた患者さん。
意義・目的	潰瘍性大腸炎の罹患率上昇と長期経過例患者の増加により潰瘍性大腸炎関連腫瘍と診断される機会が増加しています。潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する内視鏡治療の有効性に関しては、まだまだ不明な点が多いです。そこで、潰瘍性大腸炎患者に発生した腫瘍性病変に対する内視鏡治療指針の確定にむけて多施設の診療情報を収集し、解析することにより本邦における内視鏡治療の現状を明らかにします。さらに上記集団の経過を追跡し、内視鏡治療の適応を提案することを目的とします。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、生活歴、既往歴、潰瘍性大腸炎の臨床経過・治療歴・内視鏡所見・治療時の所見・病理所見、外科切除歴・手術所見・病理所見、予後です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	慶應義塾大学内視鏡センター、東京大学腫瘍外科・血管外科、佐賀大学消化器内科、兵庫医科大学炎症性腸疾患センター、福岡大学筑紫病院消化器内科、群馬大学消化器内科、昭和大学横浜市北部病院消化器病センター、横浜市立大学附属市民総合センターIBDセンター、国立がん研究センター中央病院内視鏡センター、東北大学消化器内科、京都府立医科大学附属病院内視鏡・超音波診療部、九州大学病態機能内科学、杏林大学消化器内科 研究代表機関である岩手医科大学に情報を集め岩手医科大学（研究責任者 松本主之）が解析します。
試料・情報の管理責任者	岩手医科大学 教授 松本主之
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5538 広島大学病院消化器・代謝内科 診療准教授 岡 志郎